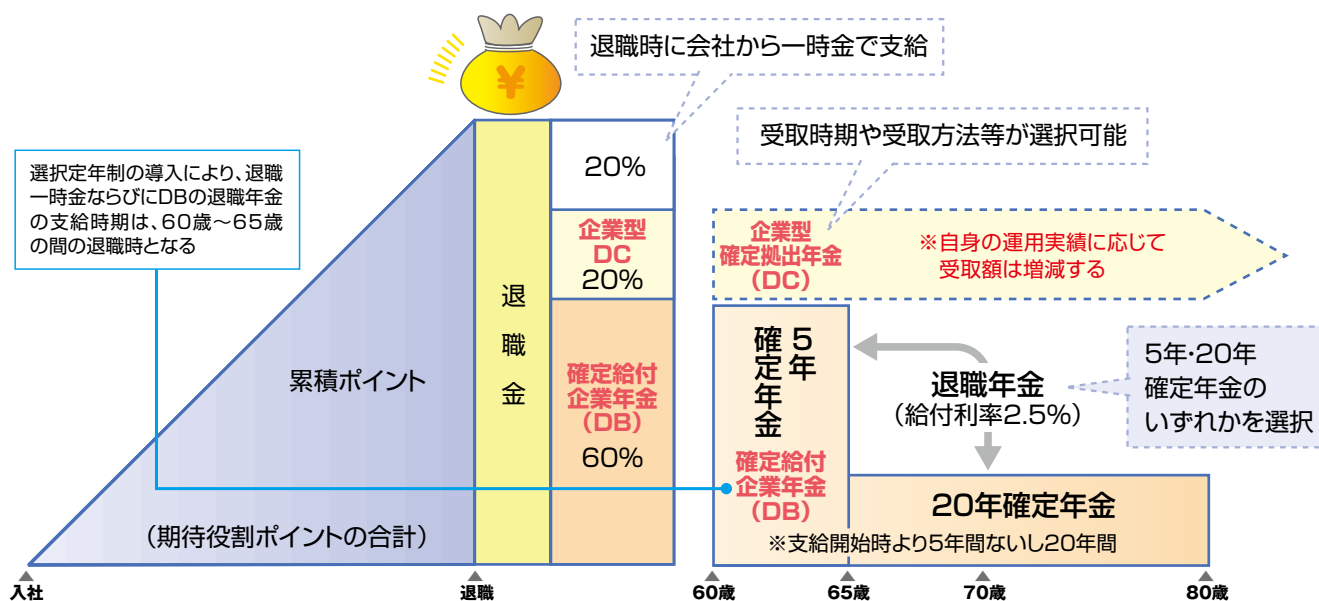


企業年金のしくみ

退職金と企業年金との関係

大日本印刷企業年金基金は、DNPグループ各社（一部除く）のポイント制退職金を年金原資として運営しています。

退職金の配分は、原則、会社支給の「退職一時金」が20%、「確定給付企業年金（DB）」が60%、「企業型確定拠出年金（DC）」が20%になっています。当企業年金基金が運営する「DB」は確定年金で5年または20年の選択ができます。「DB」の年金受給資格には一定の要件がありますが、年金受給資格がある場合でも、全部または一部を「脱退一時金」として受け取ることが可能です。事業主が実施する「DC」は、毎月拠出される事業主掛金を従業員ご自身が資産運用を行ない、その運用成績に応じた金額を60歳～70歳の任意の時期に受け取ることができます。（運用成績により受取額は変動します。）



退職金額の算出

会社都合扱い：退職金額

$(\text{累積ポイント} + \text{期待役割ポイント} \times \text{当年勤続月数} / 12) \times \text{ポイント単価} (8,000\text{円})$

自己都合扱い：退職金額

$(\text{累積ポイント} + \text{期待役割ポイント} \times \text{当年勤続月数} / 12) \times \text{ポイント単価} (8,000\text{円}) \times \text{勤続年数別支給係数}$

期待役割ポイントは、毎年の昇給人事考課成績により決定し、翌年3月31日まで勤務した時点で確定して、累積ポイントに合算します。

※期待役割ポイントは、各社の役割等級別・昇給人事考課成績によって決定されます。

勤続月数の計算に際しては、当月1日から当月末日までを1ヶ月として、これに満たない場合は切り捨てます。（但し、会社都合は切り上げ）

※翌年3月31日までの間に退職した場合は、期待役割ポイントを月割（小数点第2位を切り上げ）します。

勤続年数	支給係数
3年未満	0.0
3年以上10年未満	0.3
10年以上20年未満	0.4
20年以上	0.6

※満50歳以上の支給係数は勤続年数に限らず1.0。（→自己都合扱いでも全額支給）

※勤続年数に1年未満の端数を生じた場合は、これを切り捨てます。